

広報 やまぞえ

小さくても輝き 「いい村」づくり

Graph Yamazoe Oct 2014 vol.577

広報やまぞえ 平成26年(2014)10月発行
編集・発行 奈良県山添村
〒630-2344 山添村大字大西151番地
Tel0743-85-0041 Fax0743-85-0219
E-mail: fureai@vill.yamazoe.nara.jp
http://www.vill.yamazoe.nara.jp/

10

かわいいメダリストたち



もくじ

- 平成25年度決算報告……………P2～5
- 議会だより……………P6～11
- 役場新庁舎の建設について基本方針……………P12
- みんなの広場……………P13～16
友好都市藤井寺市 市民まつりに参加、嬉しい報告、
秋の交通安全県民運動 ほか
- 今月の情報……………P17～20
「家庭用生ごみ処理機」購入補助のお知らせ、
「かたり調査」にご注意、山添村役場職員募集、
ツアー・オブ・奈良・まほろば ほか
- 生涯学習教室のお知らせほか……………P21～22

なかよしひろば

10月4日、村内3保育園合同の運動会「なかよしひろば」が山添村総合スポーツセンターグラウンドで行われました。

天候にも恵まれ、園児たちはマスゲーム、かけっこ、ゲームや遊戯などで大活躍。

閉会式には、頑張ったご褒美として、金色に輝くメダルが贈られ、園児たちは、どこか誇らしげな表情をしていました。

平成25年度 決算報告

平成25年度の決算が確定し、9月に開かれた山添村議会第3回定例会で認定されました。

皆さまに納めていただいた大切な税金などが、山添村でどのように使われたのかを一般会計を中心にその概要をお知らせします。

一般会計の決算額は、2億65万円の黒字決算となりました。翌年度に繰り越す金額2,802万円を差し引いた実質黒字は1億7,263万円となりました。なお、この剰余金のうち1億円を財政調整基金に積み立てました。また、6つの特別会計決算額はいずれの会計も黒字決算となりました。

厳しい社会情勢のなか、事業精査や効率的な予算執行などを行ってきたこともあり、この成果は村民の皆様のご理解ご協力によるものです。また、決算書は、役場住民ホール内でご覧いただけます。

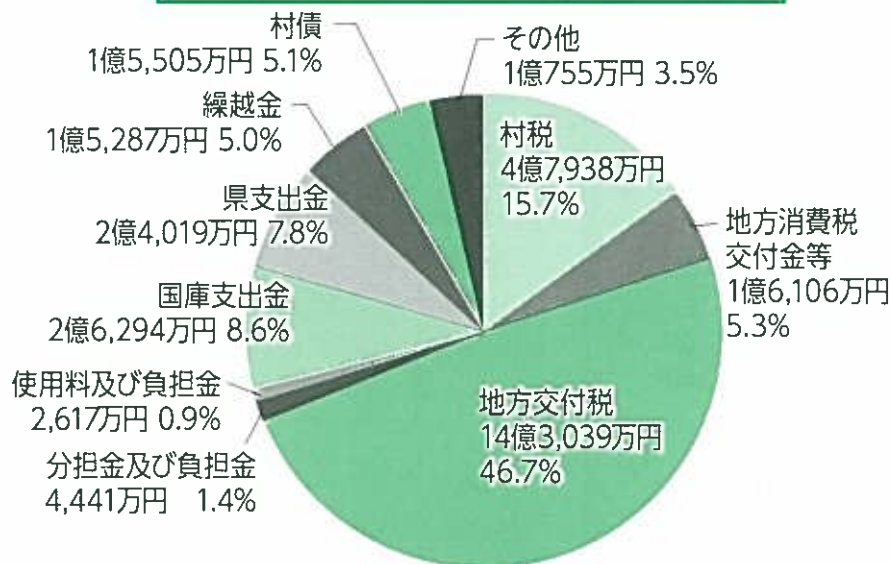
総務課財政係 ☎ 85・0416

平成25年度会計別決算

区 分			歳入総額	歳出総額	差 引
一 般 会 計			30億6,001万円	28億5,936万円	2億65万円
特 別 会 計	国民健康 保険	事業勘定	4億5,300万円	4億5,274万円	26万円
		診療施設勘定	1億6,147万円	1億6,147万円	0万円
	後期高齢者医療		4,403万円	4,403万円	0万円
	簡 易 水 道		1億4,807万円	1億4,807万円	0万円
	下 水 道 事 業		5,585万円	5,585万円	0万円
	介護保険	保険事業勘定	4億466万円	4億92万円	374万円
		サービス事業勘定	841万円	841万円	0万円
	大和高原基幹水利施設管理		3,866万円	3,866万円	0万円

※歳入・歳出の1万円以下の金額については、四捨五入しています。

一般会計歳入 30億6,001万円



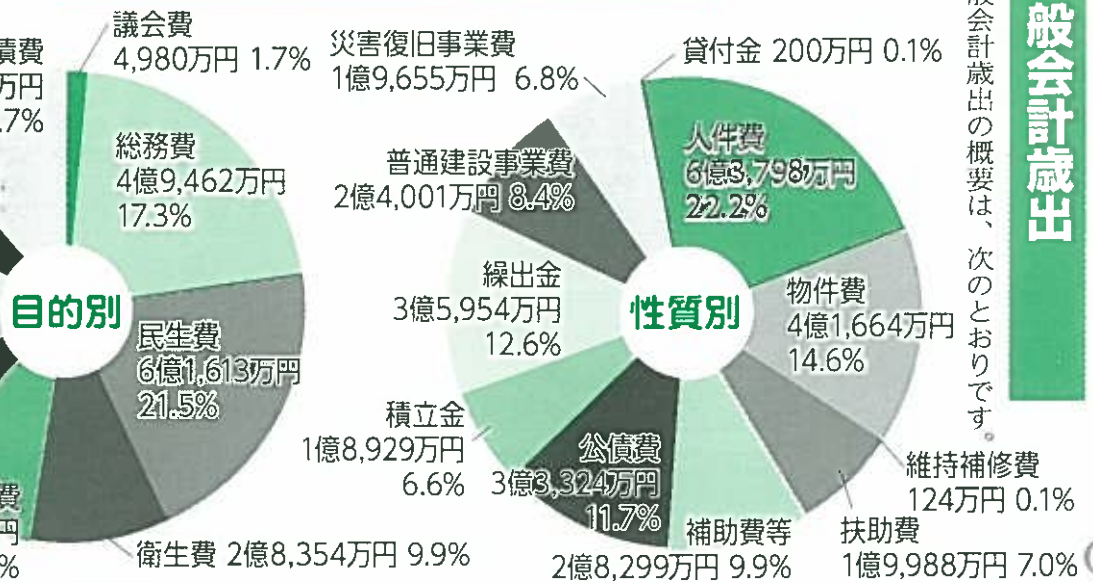
一般会計歳入

歳入のうち、所得税などの国が徴収した税金の中から市町村の財政状況に応じて交付される地方交付税は、14億3,039万円と歳入の約47%を占めており、村の主要財源となっています。住民税や固定資産税などの皆様に納めていただいた村税は、前年度に比べて0.8%減少し、4億7,938万円で歳入の約16%となりました。

一般会計歳出 28億5,936万円

一般会計歳出

一般会計歳出の概要は、次のとおりです。



主要施策

総務費	防災費	272万円
	公共交通バス運行事業	1,089万円
	観光事業	2,515万円
	地域づくり事業	315万円
民生費	障害福祉サービス費	1億2,984万円
	医療費助成	5,098万円
	福祉バス運行委託料	313万円
	放課後児童クラブ運営費	738万円
	保育園運営費	1億75万円
	通園バス	370万円
衛生費	予防接種事業	575万円
	健康増進対策事業	1,077万円
	母子保健事業	162万円
	合併浄化槽設置整備事業補助金	355万円
	塵埃処理事業	3,013万円

農林商工費	中山間地域等直接支払交付金	2,917万円
	有害野生獣被害対策施設設置補助金	6,871万円
	施業放置林整備事業	1,139万円
	神野山植栽等設計及び工事	268万円
	商工振興事業	245万円
消防費	消防管理事業	1億1,251万円
土木費	道路等維持事業	7,072万円
	道路改良事業	5,738万円
教育費	小・中・高等学校管理、振興事業等	4,728万円
	通学対策事業	3,189万円
	資料館展示替準備事業	136万円
災害復旧費	農地・農業用施設災害復旧事業(48件)	5,920万円
	道路橋梁災害復旧事業(33件)	1億1,341万円

歳入

村 税：皆さんが村に納めたお金
 地方交付税：所得税など国が徴収した税金の中から、各市町村が等しく行政運営できるように一定の算式で交付されたお金
 国庫支出金：事業など特定の目的の財源として国から交付されたお金
 村 債：事業を行うため、国や関係機関から借り入れたお金
 繰越金：前年度会計から本年度に持ち越されたお金

歳出

議 会 費：議会運営に使ったお金
 総 務 費：村の総括的な事務や事業に使ったお金
 民 生 費：高齢者、しょうがい者、児童などの福祉事業に使ったお金
 衛 生 費：保健衛生、ごみ収集処理に使ったお金
 農林商工費：農林業の振興、商工振興などに使ったお金
 土 木 費：道路や河川などの整備に使ったお金
 消 防 費：消防団の組織、活動、村民の生命財産を守るために使ったお金
 教 育 費：学校運営費や公民館、体育館などの社会教育・文化・スポーツの振興に使ったお金
 災害復旧費：道路などの災害復旧のため使ったお金
 公 債 費：村の借金返済に使ったお金

村債発行額・ 村債残高の 推移

村債は、国や金融機関などから借り入れる資金のことです。

村が借り入れをする理由として道路や大規模な施設の建設には多額の費用がかかり、それをその年の収入だけで賄うことができないことと、これらが長年にわたって広く村民の皆さんに利用していただくものですから、後の世代の方にも公平に負担してもらう必要があるからです。

しかし、村債はあくまでも借金ですから借金がふくれ上がれば村財政を圧迫します。

平成25年度は、平成18年度に比べて半分以上となる総額27億8,555万円まで減少しています。

今後とも、健全な財政運営に努力しますので村民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いします。

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
村債発行額	2億 3,040万円	1億 7,947万円	1億 7,433万円	1億 2,330万円	1億 2,000万円	1億 4,730万円	1億 2,441万円	1億 5,506万円

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
一般会計	41億 710万円	37億 1,189万円	31億 4,974万円	27億 5,820万円	23億 6,204万円	20億 7,622万円	17億 9,240万円	16億 3,824万円
国民健康保険 (診療施設勘定)	458万円	236万円	-	-	-	-	-	-
簡易水道	13億 3,081万円	12億 1,005万円	11億 2,240万円	10億 5,071万円	9億 9,276万円	9億 3,024万円	8億 6,320万円	7億 9,446万円
下水道	5億 3,760万円	5億 1,333万円	4億 8,817万円	4億 6,208万円	4億 3,562万円	4億 907万円	3億 8,149万円	3億 5,285万円
合 計	59億 8,009万円	54億 3,763万円	47億 6,031万円	42億 7,099万円	37億 9,042万円	34億 1,553万円	30億 371万円	27億 8,555万円

平成25年度交際費執行状況

村長交際費

項 目	件数(件)	金額(円)
慶 祝	26	218,890
弔 慰	3	28,500
会 費	8	150,000
賛 助	1	3,000
合 計	38	400,390

教育委員会交際費

項 目	件数(件)	金額(円)
合 計	0	0

村議会議長交際費

項 目	件数(件)	金額(円)
慶 祝	1	10,000
弔 慰	2	18,000
接 遇	2	15,668
合 計	5	43,668

村債発行額・村債残高の推移

(単位: 万円)



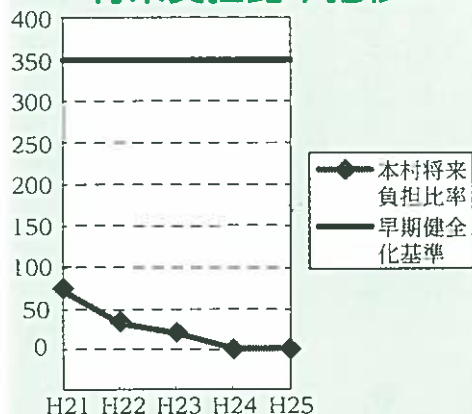
平成25年度決算に基づく各指標値

(単位：%)

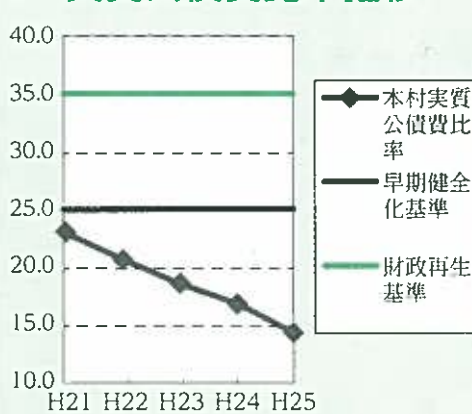
	本村の健全化判断比率等	国が定めた基準	
		早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	— (—)	15.0	20.0
連結実質赤字比率	— (—)	20.0	30.0
実質公債費比率	14.4 (16.9)	25.0	35.0
将来負担比率	— (—)	350.0	—
公営企業 資金不足比率	簡易水道事業 — (—) 下水道事業 — (—)	20.0	—

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、公営企業資金不足比率については、収支が黒字のため算定されず「—」で表示しています。又、()は平成24年度指標値です。

将来負担比率推移



実質公債費比率推移



用語説明

健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計等の赤字の状況を表す指標
	連結実質赤字比率	一般会計等に簡易水道や下水道などの特別会計を加えた全会計の赤字の状況を表す指標
	実質公債費比率	地方債(村の借金)の単年度返済額の負担の重さを表す指標
	将来負担比率	地方債の残高や公社・第三セクターにかかる債務など、将来負担しなければならない負債の大きさを表す指標
	公営企業資金不足比率	公営企業ごとの赤字の状況を表す指標

健全化判断比率から見た
村の財政は…

普通会計の実質赤字比率、全会計の連結実質赤字比率は共に黒字で財政は健全な段階です。公営企業(簡易水道と下水道事業)も資金不足は無く健全です。実質公債費比率については、公的資金の繰上償還や地方債発行の抑制により、昨年度から2.5%減少しました。今後も更なる繰上償還の実施や、地方債発行を必要最小限に止めること等により、健全財政を維持します。また、将来負担比率も行財政改革の推進や地方債の元利償還金の減少及び財政調整基金の増額により、昨年度同様将来負担はなく、今後もこの状況を推移していきます。

平成25年度の財政健全化判断比率と 資金不足比率をお知らせします

自治体の財政悪化をチェックするしくみ「早期健全化」と「財政再生」の2段階を定め財政危機を早期に発見し健全化を促すことを定めた「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成25年度決算についての財政健全化判断比率及び資金不足比率の数値をお知らせします。

議会だより

◆平成26年第3回 議会定例会の結果

第3回定例会は、9月10日から25日までの16日間の会期で開きました。
条例の一部改正、平成26年度補正予算及び平成25年度決算、人事並びに意見書等20件が提出され、採決の結果、全件可決しました。

提出議案とその審議内容

議案とその審議内容を要約して掲載しています。

条 例

○山添村ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正について（全会一致で可決）

上位法の改正に伴い、文言の改正が行われました。

予 算

○平成26年度山添村一般会計補正予算（第2号）について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村国民健康保険特

別会計補正予算（第1号）について（全会一致で可決）

○平成26年度山添村介護保険特別会計補正予算（第1号）について（全会一致で可決）

※前記補正予算3議案については、一括して審議。11頁参照。

○平成26年度山添村一般会計補正予算（第3号）について（全会一致で可決。11頁参照。）

決 算

○平成25年度山添村一般会計歳入歳出決算の認定について（全会一致で認定）

○平成25年度山添村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について（全会一致で認定）

○平成25年度山添村後期高齢者医療

特別会計歳入歳出決算の認定について（賛成多数で認定）

○平成25年度山添村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について（全会一致で認定）

○平成25年度山添村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について（全会一致で認定）

○平成25年度山添村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について（全会一致で認定）

○平成25年度山添村大和高原北部地区基幹水利施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について（全会一致で認定）

※前記決算7議案については、一括して審議。2頁～5頁参照。

（賛成・反対討論） 奥谷和夫議員

ここ10年間で起債が約16億円まで減少し、実質公債費比率も10%と大幅に改善され、自立のむらづくりの最大の課題であった行財政改革は大きな成果を収めた。

一般会計決算においては、コミュニケーションの運行、医療費無料化、

予防接種に対する補助、緊急雇用創出事業など、村民の暮らしや福祉、教育を守る積極的な事業が執行され評価でき賛成する。ただ、消防団事務が移管されたことに伴う費用が、2千3百万円の超過負担となっている。この間、国や県と交渉し負担軽減の努力をされてきたが、引き続き要求していくべきである。

国保特別会計について、基金を取り崩し税額を引き下げ村民負担を軽減されたことは大いに評価でき賛成する。ただ、現在国保の県内統合が予定されている。保険料が県平均に合わされることにより村民負担の増が予想されるため、反対するよう要望する。

後期高齢者特別会計について、この制度は75歳という年齢で分けることにより保険料や診療内容を差別するものであり、医療費の高騰がそのまま保険料の引き上げに繋がる。平成25年度では保険料が引き上げられ、村の激変緩和措置もなくなつた。この制度を廃止し、元の老人保

険制度に戻すべきと考え反対する。

○平成25年度山辺広域行政事務組合
一般会計歳入歳出決算の認定につ
いて（賛成多数で認定）

○平成25年度山辺広域行政事務組合
山辺広域振興基金特別会計歳入歳
出決算の認定について（賛成多数
で認定）

※前記決算2議案については、一括
して審議。10頁参照。

（反対討論）

奥谷和夫議員

この決算認定については、山辺広
域行政事務組合が解散したことに伴
い、本村議会を始めとする従前の構
成団体で審議を行うことになった。
これでは、正確な決算審査が困難で
あり、また審査結果を反映できない
という問題がある。また、消防の県
広域化については、十分な期間を置
かず拙速に進められ、消防力や消防
団の強化が求められているときに逆
行していたのも問題である。この広
域化により村の負担も増え、また消
防署を持つ本村では「自賄い」との
理由で将来にわたって新たな支出を
必要とする恐れがあり、この2議案
について反対する。

（賛成討論）

三宅正行議員

山辺広域行政事務組合各会計決算
について、収入未済額は生じておら

ず不用額の増加も極力控えられてお
り解散による決算に備えた執行がな
されている。また、厳しい財政状況
の中、経費の節減にもまた合理化に
も努められ消防施設、装備の充実、
人材育成にも努力されており評価し
賛成する。

契 約

○工事請負契約の締結について（全
会一致で可決）

・契約の目的

山添中学校屋根改修工事

・契約金額

101,736,000円

・契約の相手方

中西建設株式会社

・工期

平成26年9月12日から

平成27年2月27日まで

人 事

○監査委員の選任について（全会一
致で同意）

・吉矢義彦氏（伏拝）

○教育委員会委員の任命について
（全会一致で同意）

・前川良基氏（春日）

○公平委員会委員の選任について
（全会一致で同意）

・井上善照氏（三ヶ谷）

○固定資産評価審査委員会委員の選
任について（全会一致で同意）

・井上久則氏（北野）

意 見 書

○警察・検察の取り調べの全過程の
可視化を求める意見書について
（全会一致で可決）

警察の密室での取り調べに伴っ
て発生する捜査官の暴行・脅迫・
利益誘導等による自白強要や虚偽
自白とともに、足利事件、布川事
件、東電〇し殺人事件などに代表
されるように、冤罪は現在も後が
絶えません。これは、取り調べを
全て録画することで、取り調べの
状況が検証可能となり、これによ
り初めて裁判官や裁判員が供述調
書の任意性や信用性の判断を容易
に、且つ、正確になしえるように
なります。

このことから、警察・検察の取
り調べの全過程の可視化は、冤罪
を防止することができ、被疑者や
被告人の人権を保障する上でも不
可欠なものであると考え、国に対

し意見書を提出しました。

一般質問と答弁の要旨

質問と答弁を要約して掲載してい
ます。

議員質問

○住民の移動手段の確保について

下川俊文議員

本村の住民の生活環境について、
公共機関、病院、商店、学校や職場
など、生活に関わる場所は歩いて行
けるところにはなく、そこに行くた
めの移動手段の環境は良いとはいえ
ません。また、現在ある村内の公共
交通機関の運行本数が減り、住民に
あっては、少ない本数の公共交通機
関の時間に合わせた生活をするか、
苦手であっても又経費が掛かって
も自らが自動車を保有し移動するか、
このいずれかを選択しなければなら
ません。

政府は、「乗り合い・予約型」で
小型バスやタクシーを運行するとい
う、いわゆる「デマンド交通」を推
し進めようとしています。これか
ら益々高齢化が進む本村として、こ
のデマンド交通の導入について、ど
のように考えているのかお伺いしま
す。

村長答弁

村内生活交通体制について、これまでの利用状況と費用対効果等を考慮しながら、検討・見直しを行い、行政・交通事業者・地域住民等が協働して、路線の維持・運行の確保に努めているところです。

現在、村内では、福祉バス、コミュニティバスを運行し、併せて奈良交通・三重交通による奈良市・伊賀市等への路線バスを運行しています。また、社会福祉協議会では過疎地有償運送を行っています。質問内容にありましたデマンド交通の導入につきましては、過疎地有償運送が乗り合い・予約型のデマンド方式に近い運行であり、自宅から病院までといった利用しやすい形態となっています。

今後は、この過疎地有償運送の更なる充実を図るとともに村内公共交通のネットワーク化を推し進め、効率的で地域住民の移動ニーズにあったより良い公共交通システムの構築に向けて、費用対効果や財政面等を考慮しながら更に精査してまいります。

議員質問

○土砂災害等に対する本村の対応について

奥谷和夫議員

平成26年8月の豪雨は、全国に多くの被害をもたらしました。時間雨量100ミリを超えるような豪雨であれば、本村でも大きな被害が発生すると予想されます。次の点について、本村の対策をお伺いします。

1. 県のハザードマップについて、調査が終わり作成が進んでいるようだが、現在の取り組み状況はどうか。

2. 土砂災害危険箇所や警戒区域について、村民への周知が重要と考えるが、現在の対応はどうか。

3. ホームページや携帯電話へのメール等を活用した緊急時の連絡通報体制の充実が求められるが、本村の対応はどうか。

4. 特別警戒区域や特に土砂災害が予想される地域には、ワイヤーセンサーの設置を検討してはどうか。

5. 災害時に、地域の情報を提供してもらうためのモニター制度を導入してはどうか。

6. 災害復旧時において、査定漏れや小規模災害について、村内業者

とタイアップして直営方式で施工する制度を取り入れてはどうか。

村長答弁

まず、土砂災害ハザードマップについて、奈良県により村内全集落を調査し、マップ作成及び公表等の手続きが終了したところであり、現在は住民への配布・周知の準備を進めているところです。また、必要に応じて防災意識高揚に向けた研修会等も計画していきたいと考えています。

次に、緊急時の連絡通報について、現在は主として防災行政無線放送により気象警報や避難準備情報など適時適確な情報提供に努めているところです。また、村ホームページにおいては、緊急情報が適時表示されるよう設定変更中であり、加えて携帯電話への緊急メール発信についても今後検討していきたいと考えています。

次に、ワイヤーセンサーの設置について、奈良県において特別警戒区域や特に危険があると判断される区域について順次調査中であり、村としては県及び関係機関との協議調整を行い、必要に応じて土砂災害監視機器の設置等を検討していきたいと考えています。

次に、災害時の情報提供について、各大字区長さんを中心に適時情報提供と被害状況等の報告をお願いしており、今後も各地域での連絡体制を密にすることにより早く適確な情報収集と対応に努めていきたいと考えています。

最後に、災害復旧に関して、小規模災害では村管理の河川や道路について、極力村単独事業により早急に復旧を行い、農道や農業用水路については地元施工に対する村単独補助の制度を活用いただいています。

今後も、被害を最小限に抑えるための情報収集、速やかな行動、日頃の備えへの啓発、災害発生時の対応など、村、地域住民、消防等関係機関が一体となって災害に強い村づくりに向けた取り組みを積極的に進めていきます。

議員質問

○教育委員会制度の改正に伴う村の方針について

大谷敏治議員

平成27年4月1日から、教育委員会制度に関わる法律が改正されるが、次の点において村の方針をお伺いします。

1. 総合教育会議

村長と教育委員会で構成する総

合教育会議を設置しなければならなくなるが、村長と教育委員会との政策の方向性が異なった場合、どちらの考えが優先されるのか。

また、権限が強化される反面、村長や教育長が代わったとき、教育方針の継続性や安定性に影響はないのか。

2. 教育に関する大綱の策定

教育に関する大綱について村長が策定しなければならないが、策定までどのように取り組まれようとしているのか。

3. 会議の透明化

教育委員会会議や総合教育会議の透明化について、原則として会議の議事録を作成・公表しなければならないとされている。ホームページやケーブルテレビ等の活用も考えられるが、現在どのように考えているのか。

教育長答弁

総合教育会議では、教育行政の大綱や重点的な施策について、首長と教育委員会が対等の立場で意見を交わし合い協議を経て定めることとなります。両者の方向性が異なる場合は、十分に意見を調整し合い共通の方向性を見出すことが重要であり、協議を尽くすことで調整はつくもの

と考えていますが、どうしても調整のつかない事項については、執行機関である教育委員会が判断することになります。また、方針の継続性や安定性について、大綱や根本的な方針の策定が国の教育振興基本計画等を参酌して地域の実情に応じて定めるため、性質上数か年の継続が求められます。しかし、新たな首長や教育長が就任し、方針が既存の大綱と大きく異なるときには、変更が望ましいとされています。

次に、大綱の策定について、会議に係る議題設定や議案内容の作成及び会議の運営に関する必要な事項は首長と教育委員会の合意に基づき定めるもので、現時点では定めていません。しかし、来年4月の発足にあわせ関係する規則の整備等事務処理上の手続きを行うと共に、大綱の素案作り等の事前準備を進める計画です。

最後に、会議の透明性について、非公開とするものもありますが、多くの場合会議を原則として公開し、議事録の作成や公表は努力義務としての範囲で行うことが求められています。ホームページやその他の活用と併せ、情報発信として今後検討していきたいと考えています。

議員質問

○高齢化社会を迎える山添村の福祉医療について

永谷義博議員

現在、本村の人口は、本年7月末日現在3,947人で、4千人を切っています。1989年(平成元年)を基準にすると25年間で約1,900人、33%の減少となっております。現在の人口構成は、生産年齢人口が2,015人で51%、高齢者人口は1,479人で高齢化率が37%、そして20歳までの若年層人口は453人で全人口の11%に過ぎず、30年後の2040年の全人口を見たとき2千人を切り、約1,700人前後となります。

このように、急速に進む少子高齢化社会を目前にした本村を考ええた場合、特に福祉の充実が急務と考えます。本村の医療施設の充実の一環として、地域に分散している3か所の診療所を保健福祉センターに統合し、高度で充実した福祉と医療の向上を図る必要があると考えますが、村長の考えをお伺いします。

村長答弁

村の診療所は初期で入院治療の必要がない比較的軽症の患者に対応し

た医療を担っており、村民の健康を守るため初期診療体制を確保していくことは重要な施策の一つであります。

各診療所における受診者は、高齢者が大半を占めることから、限られた移動手段しか持たない弱者的な立場にある高齢者に対し、身近で治療が受けられ待ち時間や移動時間などの面においてもなるべく負担がかからないようにとの思いから、3診療所の開設運営に努力してきたところであり、現在もその体制づくりに努めているところです。現情勢等を踏まえ、今もっては可能な限り現在の3診療所の運営を継続し、村民が安心して日常生活を送れるよう取り組んでいきたいと考えています。

へき地医療を支えていくため、診療所が担っていかねばならない役割は大きなものがあります。しかし、最近では、へき地医療は診療所だけで完結するものではなく、連携や巡回診療といったことなども含め、高齢化する中、将来的に住民にとってどういった体制が一番望ましいか、さまざまな方向から検討していかねばならないと考えています。

議員質問

○河川下流域における防災対策について

永谷義博議員

現在の地球温暖化は異常です。本村においても降雨量は毎年増加しており、特に本年については、台風11号に伴い今までに経験したことのないほどの降雨量があり、近隣地域では非常事態宣言が出されたほどでありました。村内においても避難の準備態勢が敷かれました。特に本村は山村地域で起伏が大きく、また名阪国道が村内の中央を走っており、雨量の増加により名阪国道から下流域に流れ込む水量が増加しています。このことによる災害が毎年発生しており、一部の民家では床下浸水が発生しています。

村内には2か所にダムがあり、それぞれダムの使用目的が異なっています。布目ダムは治水が目的で水位の調整を行っており、上津ダムについては貯水を目的としています。雨量により放流される流量に多少の差はあるものの、本年のように異常なほど雨が降った場合には当然放流量が増え、下流域においては河川決壊などが発生する恐れがあります。特に上津ダムの下流域におきまし

ては、上津ダムの放流水を含め多くの河川が流入しています。遅瀬川下流域の防災対策について、どのように考えているのか伺います。

村長答弁

降雨量は年々増え長時間大雨が続くことが幾度もある中で、名阪国道の切幡から三ヶ谷付近及び春日付近から遅瀬の集落に大水が発生しており、その対策は急務となっています。

遅瀬地区では、先般の大雨により家屋が床下浸水しており、大雨による増水と農地の荒廃によって、水路でない農地を大水が走る現象が生じています。毎年、国の関係機関に早急な対応を講じられるよう強く要望しており、一部水系の調査が行われています。

上津ダムについては、農業用水と水道用水が目的であり治水を目的としておらず、干ばつが予想される時期には貯水しなければならぬ状況です。規定の放流量を保ちながら、洪水時には洪水吐けからの越流による管理となっています。また、上津ダム下流の防災対策について、遅瀬地区では県において青龍橋付近から上流の井堰付近までの間の河川改修が完了しています。なお、上津及び

下津地区につきましても、危険箇所あるいは地元要望があれば、改修の要望に積極的に行っていきたいと考えています。

◎議会のあゆみ

7月28日	全員協議会
8月29日	全員協議会
9月3日	正副議長並びに各委員長会議
10日	全員協議会
16日	第3回定例会開会
17日	文教厚生委員会
18日	文教厚生委員会
22日	総務委員会
25日	むらづくり特別委員会
25日	全員協議会
25日	第3回定例会閉会



平成25年度会計別決算

区 分	歳入済額	歳出済額	差 引
一 般 会 計	34億 261万円	32億1,867万円	1億8,394万円
山辺広域振興基金特別会	11億4,049万円	11億3,723万円	326万円
計	45億4,310万円	43億5,590万円	1億8,720万円

※歳入・歳出の1万円以下の金額については、四捨五入しています。

- ◆ 本村の平成25年度の負担金は9,443万円です。
- ◆ 解散に伴う本村への返還総額は、4,850万円です。

平成25年度 山辺広域行政事務組合 決算報告

平成26年3月31日をもって山辺広域行政事務組合が解散し、打ち切り決算となったため、平成25年度の歳入歳出決算の認定を構成市町村において行うこととなり、9月に開かれた山添村議会第3回定例会で認定されました。

議長就任挨拶

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、村民の皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

不肖私、この度の議会役員改選におきまして、議長にご指名いただき就任いたしました。今は貴務の重大さに身の引き締まる思いであります。何分にも浅学非才の身でございますが、この自然豊かな素晴らしい村の更なる発展のため、微力ながら精一杯頑張る覚悟でございますので、皆様方の温かいご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて我が山添村は、先輩の方々のご尽力のもと行財政改革が進められ、厳しかった財政も大きく改善されました。しかし、将来に向けての課題も山積しており、簡易水道の村営化、観光振興の促進、少子高齢化への対応、消防力の強化と災害に強い村づくり、役場庁舎等のあり方等に対しまして、村民の皆様方のご意見をよく聞き、議員一同心を合わせて課題解決に取り組んで参りたいと考えております。

今後とも、村民の皆様方の温かいご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

山添村議会議長 畑中重一

山添村議会構成表

(平成26年9月25日就任)

役 職		氏 名		役 職		氏 名	
議 長		畑 中 重 一		むすびぐ特別委員会	委 員 長	永 谷 義 博	
副 議 長		下 川 俊 文			副委員長	奥 谷 和 夫	
総務常任委員会	委 員 長	吉 矢 義 彦			委 員	吉 矢 義 彦	
	副委員長	今 西 三 郎			委 員	福 井 新 成	
	委 員	奥 谷 和 夫			委 員	今 西 三 郎	
	委 員	森 中 利 也		奈良県広域消防組合議会議員	森 中 利 也		
	委 員	下 川 俊 文		山辺環境衛生 組合議会議員	下 川 俊 文		
文教厚生常任委員会	委 員 長	福 井 新 成			吉 矢 義 彦		
	副委員長	三 宅 正 行			永 谷 義 博		
	委 員	畑 中 重 一		監査委員	吉 矢 義 彦		
	委 員	大 谷 敏 治			※奈良県広域消防組合議会議員は、平成26年6月18日 就任(平成27年3月31日任期満了)。		
	委 員	永 谷 義 博					

補正予算の内容

(単位：千円)

○平成26年度山添村一般会計補正予算(第2号)

補正前の額	補 正 額	計
2,743,410	12,074	2,755,484

社会保障・税番号制度に係る中間サーバー利用負担金、天理都祁線運行補助金、臨時福祉給付金事業交付金、修繕料及び被災農業者向け経営体育成支援事業補助金の増額

○平成26年度山添村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)【事業勘定】

補正前の額	補 正 額	計
452,900	121,406	574,306

国保システム改修委託料、一般被保険者診療報酬及び一般被保険者高額療養費の増額

○平成26年度山添村介護保険特別会計補正予算(第1号)【保険事業勘定】

補正前の額	補 正 額	計
462,780	3,856	466,636

介護給付費準備基金積立金及び国庫負担金等返還金の増額

○平成26年度山添村一般会計補正予算(第3号)

補正前の額	補 正 額	計
2,755,484	13,290	2,768,774

災害復旧工事にかかる設計業務委託料及び村単独災害復旧工事費の増額

役場新庁舎の建設について基本方針を決定しました。

本村は、今後の庁舎等のあり方について役場庁内で検討を行ったのち、村内各種団体の代表者をもって組織する「山添村役場庁舎等のあり方についての検討委員会」を設置し、その方向性についていろいろな角度から検討を頂きました。

その検討結果を踏まえ、村議会において下記の基本的な考え方について了承を頂き、先に開催した臨時区長会において住民の皆様への周知をお願いしたところです。

今後、この方針に基づき新庁舎建設に向けて作業を進めて参りますので、ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。



山添村役場庁舎等のあり方について基本的な考え方

■ 現 状

山添村役場本庁舎は、昭和36年の建設から53年、山添村振興センターは昭和47年の建設から42年が、それぞれ経過し老朽化が進んでいる。

また、本庁舎2階天井裏にはアスベストが使用されており、大地震に見舞われた際には庁舎内や周辺に飛散するようなことも予想され、加えてバリアフリー化、窓口の分散化といった課題を抱えている。

こうした中、平成23年に発生した東日本大震災を教訓に当該施設の躯体強度試験並びに耐震診断を行った結果、いずれの施設も耐震補強が必要という結論に至った。

上記のことを踏まえ、平成26年3月に各種団体の代表者をもって「山添村役場庁舎等のあり方についての検討委員会」を設置し、将来に向けて庁舎等がどうあるべきか様々な角度から検討をいただいた結果、本庁舎については、新築することが望ましいという答申が出された。

■ あるべき姿

ワンストップサービスが提供でき、機能性の高い庁舎であり、かつ、近い将来発生することが危惧される南海トラフ地震などに備え、村民生活の安全・安心を確保する防災拠点としての機能を持ち合わせ、管理が容易で省エネルギーに配慮した施設。

■ 基本方針

現在の山添村役場及び振興センター周辺に住民の集える現在の振興センターの機能を併せもった新庁舎を建設する。

この庁舎等の建設にあたっては、できる限り有利な財源を確保し、身の丈に合った施設の規模とする。

なお、当該地を予定地とすることの主な理由は以下に記載のとおりである。

- ① 現在の役場・振興センターの所在地は、国道25号線と主要地方道奈良名張線が交差する地点で、本村でも有数の交通の要衝であり、山添村誕生当時に用地選定の最大の理由とされた。現在、駐在所や商工会が隣接するこの立地の優位性は、今後も政策遂行上重要な要素となる。
- ② 敷地造成費が比較的安価ですみ、老朽化している振興センターの解体を併せて行うことにより、将来的な施設管理経費を抑制できる。

また、旧山の辺電子の敷地も合せた有効な土地利用が可能。

- ③ ふるさとセンター敷地内にも候補とする土地はあるものの、主要な道路から入り込んだ立地となり、加えて敷地造成に相当な経費が必要となる。

友好都市藤井寺市

市民まつりに参加

9月14日、同市のスポーツセンターで行われ、本村から「花香房」「山添村文化協会」の方々が参加し交流を深めました。

物産市に出店した「花香房」のブースでは、山添の新鮮野菜、新米やお茶などを求める常連さんなど多くの方が訪れ、お昼ごろにはほぼ完売するなど大盛況でした。



この品ぞろえがあっという間に!!



夜になっても踊りが続きました。

午後6時開始の市民音頭・河内音頭に山添村文化協会が参加、音頭取りさんは何人も代わり、フィナーレの8時まで踊り通していました。

嬉しい報告

9月24日、村内ゲートボールチームのアトムズが役場を訪れ、9月12日に榎原陸上競技場で行われた奈良県選抜ゲートボール大会を抜群のチームワークでシニアレディースの部で優勝したことを報告しました。

奈良県代表として、来年5月に宮城県で開催される全国大会に出場します。



秋の交通安全県民運動

9月21日から30日の間、交通安全県民運動が実施され、県下各所で交通安全啓発活動が行われました。

本村でも、交通安全協会山添分会の方などが中心となって道路を行き交うドライバーなどに交通安全の呼びかけが行われました。



「気を付けて運転してください」

写真は、9月28日、役場前で「シートベルト・ヘルメット着用キャンペーン」です。

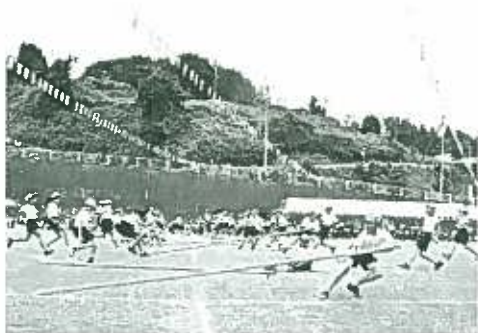
やまぞえ小学校

運動会

「ベストをつくせなかつた」

9月20日、やまぞえ小学校運動会が行われました。

紅白の組に分かれての競走や、力をあわせての演技にと児童たちは大活躍。



5. 6年児童「竹取物語」



開会式にのぞむ真剣な顔



どちらも見事に決めてくれました

4. 5. 6年児童演技
テーマは「原点・創造・無限」



1. 2. 3年児童演技
遊戯「にんじやり ばんばん」

山添中学校

体育大会

10月8日、学年別対抗形式で体育大会が行われました。

体格差を考慮して下学年にハンディが与えられ、どの種目も接戦を繰り広げていました。



大縄跳び
2年生が1位に



ナイスコンビ、ナイスシュート
1年生が1位に

閉会式が終わると、3年生全員が担任の先生に駆け寄り、ねぎらいの言葉を受けた後、先生を「胸上げ」をして中学生最後の体育大会を締めくくりました。



20人21脚・3年生が1位に

山添中学校

文化発表会

9月23日、日ごろの学習の成果を発表しました。

体育館の壁にはアーティスティックに描かれたデザイン画やスケッチ、わびさびの世界でしょうか水墨画や陶芸作品が展示されました。

1、2年生はみんな知っている童話をアレンジした創作劇を発表、3年生は、創作映画を上映。

午後からの舞台では吹奏楽部の3年生をまじえた最後の演奏です。

作文発表や、英語のスピーチも、これにはALTのリナ先生も「ベリーグッド」とお墨付きです。



1年生発表 創作劇「桃太郎」



2年生発表 創作劇「猿カニ合戦」



3年生発表 創作映画
榎八先生 The Movie Final

gallery 山中



腕を上げたね！

布目湖

釣り大会

10月4日、布目ダムの副ダムを中心に大会が行われました。すべての部門で優勝者は40センチを超える魚を釣り上げています。



大物ヒット、すかさず仲間が「タモ」を

表彰までの時間を利用して子どもたちのマスのつかみ取り体験や、釣り体験が行われました。ゲットできない子どもたちにも大会が準備した魚が配られ、楽しく自然と触れあったことでしょう。



採ったよ2匹も



釣れたけど糸が長いよ!!

平成26年度 山添村民体育大会

ランニングをかわきりに各競技に老若男女の選手が参加して熱戦が繰り広げられています。

part 1

ランニング (9月26日)



ハープリレーマラソン(21.0975km)を参加者全員で完走(記録1時間4分41秒)

ゲートボール (9月28日)



スパーク打撃

ソフトバレーボール (9月28日)



ネット上の攻防

スリッパ卓球 (9月28日)



チャンスボール

開会式 (9月28日)



選手宣誓

硬式テニス (9月28日)



ナイスサーブ

ゴルフ (10月2日)



優勝おめでとうございます

ソフトボール (10月2日)



快心のあたり

グランドゴルフ (10月7日)



「はいれ！！」

今月の情報 INFORMATION

市外局番 ☎ 0743

役場へのご用の節は、迅速・便利な
直通ダイヤルをご利用ください。

総務課 85-0041

行政相談、人権相談、情報公開、消費生活相談、議会、選挙、広報、統計、消防、防災、防犯、交通安全などに関する事

財務会計室 85-0416

出納・会計などに関する事

住民課 85-0043

0044

0046

戸籍、印鑑登録、住民票、村税、介護保険料、国民健康保険、諸証明、国民年金、福祉医療、児童手当などに関する事

保健福祉課 85-0045
0335

社会福祉、保健・予防事業、生活保護、介護保険、地域包括支援センター、保育園、診療所などに関する事

環境衛生課 85-0047

簡易水道、下水道、公害、環境美化、畜犬、エネルギーなどに関する事

地域振興課 85-0048

農業委員会、農地・農業相談、農林水産、地籍調査、道路、河川などに関する事

教育委員会事務局 85-0049

学校教育、社会教育、社会体育、生涯学習、文化財、公民館などに関する事

山辺環境衛生組合

山辺衛生センター 85-0253

浄化槽維持管理、尿の汲み取り

「家庭用生ごみ処理機」 購入補助のお知らせ

家庭から出るごみの中で、大きな割合を占めるのが「生ごみ」。山添村では、ごみの減量対策として「生ごみ処理機」の購入者に対し補助金の交付を行っています。

家庭用生ごみ処理機によって堆肥作りを促進し、生ごみをリサイクルしましょう。

▼対象者 村内に住所を有し、かつ村内において処理機を設置している方

▼対象機器 電動式生ごみ処理機（生ごみを堆肥化できるもの）

▼補助金額 生ごみ処理機1台の購入金額の2分の1の額（30,000円を限度とする。ただし、



- 1, 000円未満は切り捨て）
- 現在、ご利用いただいている方々のご意見を一部紹介しています。
- 生ごみを出した日に乾燥できるので、嫌な臭いが無くなった。
- 夜中に稼働させており、処理時間や機械音も気にならない。
- 処理後は有機肥料として利用できる
- 処理に時間がかかる。
- 動作の音が少し大きい。
- 申請・問い合わせ 環境衛生課

臨時福祉給付金及び 子育て世帯臨時特例給付金

「もう申請はお済みですか？」

対象と思われる方には、すでに申請書を送付しています。

申請の方は、締め切りは10月末日になっておりますので、まだの方は早めに申請してください。

また、該当と思われる方で通知が届かない方はご連絡ください。

なお、この給付金の詳細については、広報やまぞえ6月号をご覧ください。

▼問い合わせ

臨時福祉給付金

総務課

子育て世帯臨時特例給付金

住民課

「かたり調査」 にご注意

「国勢調査」や県が行っている調査だと偽って個人情報（家族構成や資産に関する事）を聞き出そうとする不正な「かたり調査」が県内で発生しています。

県が調査を行う場合は、調査の目的や基準日などを事前に連絡されます。

また、統計調査に赴く調査員は、調査期間中必ず調査員証を携帯していますので、不審に感じた場合は調査員証の提示を求めてください。

また、調査に関する不審な電話があった場合は、個人情報等をすぐに回答せずに、役場総務課までご連絡ください。

▼問い合わせ 総務課

◆村職員人事異動

（10月1日発令）

石堂 玲子 ひまわり保育園

（新採用）

●山添村役場職員を募集します

◆保育士

▼応募資格 昭和55年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有する人(平成27年3月資格取得見込みの人を含む)

▼募集人員 2名程度

▼採用予定日 平成27年4月1日

▼応募期限 平成26年11月7日(金)午後5時まで

(郵送の場合は、当日消印有効)

▼応募方法

応募用紙に必要な事項を明記、写真貼付のうえ、役場総務課まで直接持参するか、書留等確実な方法で郵送してください。

応募用紙は役場総務課にあります。なお、試験に関する提出書類は一切返却しません。

▼試験日時・場所

【日時】平成26年11月24日(月・振替休日) 午後1時開始

【場所】山添村役場

▼試験内容 作文(800文字程度)、面接

その他

応募資格がないこと、応募用紙記載事項が正しくないことが判明した場合は合格を取り消すことがあります。また、資格取得見込みの人が平成27年3月31日までに取得できなかった場合は、採用は取り消しとなります。

◆試験に関する問い合わせ・応募先 山添村役場総務課 ☎85・0041

〒630・2344 奈良県山辺郡山添村大字大西151番地

◆臨時職員(保育士)

▼応募資格 保育士資格を有し、おおむね65歳までの人

▼募集人員 2名程度

▼雇用期間 平成27年4月1日から平成28年3月31日

▼応募期限 平成26年11月7日(金)午後5時まで

(郵送の場合は、当日消印有効)

▼応募方法

応募用紙に必要な事項を明記、写真貼付のうえ、役場総務課まで直接持参するか、書留等確実な方法で郵送してください。

応募用紙は役場総務課にあります。なお、試験に関する提出書類は一切返却しません。

▼試験日時・場所

【日時】平成26年11月24日(月・振替休日) 午後1時開始

【場所】山添村役場

▼試験内容 面接

奈良マラソン2014 開催に伴う交通規制について



左記のとおり、「奈良マラソン2014」を開催します。コースの奈良市及び天理市において交通規制を実施します。
ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、ご協力をお願いします。

①交通規制日時

12月14日(日)

午前8時30分頃～午後3時頃

②主な規制区間

・国道369号等(大宮通り)二条大路南5丁目～県庁東・焼門前

・国道169号(天理街道) 紀寺～窪之庄町南

・県道高畑山線等 高樋町・円照寺前・高畑町

・奈良市道等(やすらぎの道) 高天

・奈良市鴻ノ池陸上競技場

・奈良公園

・天理市内

・ホームページ

「奈良マラソン交通規制」で検索してください。

▼問い合わせ

奈良マラソン実行委員会事務局

☎0742・81・8752

地域の魅力、再発見!

「ツアー・オブ・奈良・まほろば」

自転車の楽しさを知ってもらうことを目的に色々なイベントを開催されます。

奈良県東部をめぐるサイクリングツアーと宇陀市「心の森総合福祉公園」でサイクルカーニバルを実施。



また、周遊コースでは競輪選手のタンデム自転車体験やスポーツ自転車体験など、ふれあい交流ドームでは各市村のステージや物産ブースなどが出展。

ご家族や仲間と一緒に地域の魅力を再発見してみませんか!

▼日時

11月23日(日)

午後2時 ブースオープン

午後3時 ステージセレモニー

場所 宇陀市心の森総合福祉公園

参加費 無料

▼問い合わせ

ツアー・オブ・奈良・まほろば事務局(平日午前10時～午後5時)

☎0744・43・8205

ホームページ

http://2014.tourofnara.com/

大規模な土地取引には届出が必要です 提出期限は契約締結日から2週間以内です

国土利用計画法は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため土地取引の届出制度を設けています。
土地取引に係る契約（予約を含む）をしたときは、権利取得者（例えば、買主）は、契約日から2週間以内に土地売買等の届出をしなければなりません。

届出が 必要な 土地面積	都市計画区域外 市街化調整区域 市街化区域	10,000㎡以上（山添村全域） 5,000㎡以上 2,000㎡以上
届出先	届出書に必要事項を記入し、添付書類（契約書の写し、地図など）とともに土地の所在する市町村役場に届けてください。 届出の用紙は役場にあります。また奈良県のホームページでも入手できます。	
審査内容	土地の利用目的が、土地利用基本計画などの土地利用に関する計画に適合しない場合には、利用目的の変更を勧告し、是正を求めることがあります。	
罰金	届出をしなかったり、虚偽の届出をすると6カ月以下の懲役、または、100万円以下の罰金に処せられることがあります。	

全国一斉

女性の 인권

ホットライン

強化週間

夫・パートナーからの暴力をはじめとして職場等におけるセクシャルハラスメント、ストーカー行為など女性の 인권に関わる問題全般について、人权擁護委員が下記のとおり秘密厳守で電話相談（無料）に応じます。

全国共通ナビダイヤル

☎0570・070・810

▼日時 11月17日（月） 23日（日）

平日 午前8時30分～

午後7時

土曜日・日曜日

午前10時～午後5時

▼対象者

県内在住の女性

▼相談員

奈良県人权擁護委員連
合会人权擁護委員

応急手当講習会

家族・友人が
意識不明になったら
「あなた」は
どうしますか？



消防署では、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法を学んでいただく救命講習を実施しています。お問い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

▼日時 11月16日（日）

午前9時～正午

▼場所 山添消防署

▼内容 普通救命講習Ⅰ

心肺蘇生法（胸骨圧迫・人工呼吸）及びAEDの取り扱い等の応急手当

▼対象者 村内在住・在勤・在学の方

▼定員 先着15名

▼参加費 無料

▼問い合わせ

山添消防署 ☎85・0304

毎月11日は

「人权を確かめあう日」です

11月11日（火）午前9時～11時30分まで、振興センターにおいて「行政相談・人权相談」を開設します。お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 総務課 ☎85・0041



ハローワークしようがい者

就職面接会開催のご案内

ハローワークでは、就職を希望するしようがいをもつ方を対象にした就職面接会を開催します。

▼日時 11月12日(水)

午後1時～3時30分

▼場所 奈良市三条宮前町7・1

なら100年会館

▼問い合わせ

奈良労働局職業安定部職業対策課
高齢・障害者雇用対策係

☎0742・32・0209

奈良労働局からのお知らせ

11月は

「労働保険適用促進強化期間」です。

1人でも労働者(パート、アルバイトも含めます)を雇った場合、事業主は労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する必要があります。

労災保険は、労働者が業務上の事由又は通勤によって負傷したり、病気に見舞われたり、あるいは不幸にも死亡された場合に被災労働者や遺族の方に必要な給付を行っています。

雇用保険は、失業した場合や雇用の継続が困難となる場合等に対して失業給付・事業主助成などの必要な保険給付を行っています。

まだ、加入手続きをとられていない事業主の方は、従業員の方が安心して働けるよう、加入手続きを行っ

てください。

▼問い合わせ

労働基準監督署公共職業安定所

(ハローワーク)

奈良労働局総務部労働保険徴収室

☎0742・32・0203

奈良しごといセンター・ならジョブカフェからお知らせ

奈良で働きたい"地元で活躍したい"そんなあなたをお待ちしています。

時間、講座内容、申込み方法等詳しくは奈良しごといセンター・ならジョブカフェまでお問い合わせください。

講 座 等	月 日	場 所
就活セミナー	11月13日(木)	ならジョブカフェ
面接トレーニング	11月18日(火)	
若者就職希望者対象「就活サロン」(就活仲間と情報交換)	毎週水曜日(午前10時～午後3時)	ならジョブカフェ
奈良県無料職業紹介所 求人登録を受け付けています	先ずはお電話を	奈良しごといセンター
奈良で働きたい方を「ジョブならネット」が応援!	ネット上で登録を	https://www.job-nara.pref.nara.jp/

問い合わせ 奈良しごといセンター・ならジョブカフェ 奈良市西木辻町 93-6 エルトピア奈良内
☎0742-23-5730 庶 0742-23-5757



平和を仕事にする 陸海空自衛官募集



種 目	資 格	受付期間	試 験 日
高等工科学学校生徒	中卒(見込含) 17歳未満の男子	推薦 11月1日～12月5日	平成27年1月10日～12日 (内1日)
		一般 11月1日～ 平成27年1月9日	平成27年1月24日 (注 1次試験のみ記載)



注 2次試験については1次試験合格者に通知があります

◆ 詳しくは、自衛隊天理募集案内所まで ☎0743-63-2540

ホームページ: <http://www.mod.go.jp/pco/nara>

e-mail: hq1-nara@pco.mod.go.jp

サービスが終了します

お願いします 詳しくは、こまどりケーブル株 ☎0120-667-740

生涯学習教室 11月

日(曜日)	学習メニュー	時 間	対象者	主催(申込先)	開催場所	備 考
2(日)	ヨガ教室	10:00~11:00	一般成人	波多野公民館	波多野公民館研修室	材料費 500円
2(日)	楽しく描こう	13:30~16:00	どなたでも	波多野公民館	波多野公民館研修室	絵具、消しゴム、画題等
9(日)	二胡演奏会	14:00~15:00	どなたでも	波多野公民館	波多野公民館研修室	参加費 無料
15(土)	季節のガーデニング ~春咲球根のガーデニング~	10:00~11:00	一般成人	豊原公民館	豊原公民館大研修室	材料費 1,200円 鉢代別に700円程
16(日)	X'masのアレンジメント	13:00~16:00	一般成人	豊原公民館	豊原公民館大研修室	材料費 2,500円 詳しくはチラシで
16(日)	伝統料理 こんにやく作り	13:00~17:00	一般成人	波多野公民館	スポーツセンター 調理室	参加費 500円
19(水)	ちぎり絵を楽しみましょう ~千支 羊~	13:30~16:30	一般成人	東山公民館	東山公民館大会議室	材料費 1,000円
22(土)	親子体験 グラスアートに挑戦 ~クリスマスバージョン~	13:30~16:00	保育園児 小学生と保護者 一般成人可	東山公民館	東山公民館大会議室	材料費 1,200円
26(水)	季節のはり絵の ~お正月~	13:30~16:30	一般成人	東山公民館	東山公民館大会議室	材料費 500円
29(土)	お話ひろば	10:00~12:00	5歳児~小3年生	波多野公民館	波多野公民館研修室	先着20名様
30(日)	伝統のしめ縄づくり	13:30~16:00	どなたでも	豊原公民館	豊原公民館大研修室	材料費 200円 詳しくはチラシで

教育委員会 ☎85-0049 / 歴史民俗資料館・波多野公民館 ☎85-0250 / 東山公民館 ☎86-0001 / 豊原公民館 ☎87-0001

てんいち先生



片平あかねまつり2014
大和の伝統野菜大品評会
大和の伝統野菜「片平あかね(かぶ)」の即売やアイデア料理の試食を行います。
皆さまお誘いあわせのうえご来場ください。
▼とき 11月23日(日) 午前10時~お昼頃まで
▼ところ 五月老人憩いの家周辺 山添村大字片平(県道「奈良・名張線」沿い)
▼問い合わせ 片平あかねまつり実行委員会

毛原地蔵まつり
毛原長久寺境内の長い参道には100体余りの地藏菩薩や大きな磨崖仏が刻まれ、他の寺院では見られない光景です。
住職の講話、民謡クラブ「日本民謡和泉会」のお楽しみショーや抽選会を行います。
皆さまお誘いあわせのうえご来場ください。
▼とき 11月16日(日) 午後1時~4時20分
▼ところ 長久寺境内 山添村大字毛原
▼問い合わせ 智龍公園地域観光開発協会



山添俳句教室 九月句会より
夕暮れの茶園にふゆる赤とんぼ
清流に犬を泳がせ水遊び
鞠一つ転がる庭や夏終る
啄木鳥叩く枯木の音の大きかり
庵れ窓あたり最も虫すだく
淑女とてラッパ飲みするラムネかな
国訛聞くも楽しや秋の旅
葛の葉を騒がせめたる驟雨かな
猪垣を設ふ杭の音高き
新子 満州男 選
田畑 茂代
中西千栄子
西岡たか代
馬場 路哉
東 和子
太田 新子
太田 守
奥谷 美代
神田 幸子

山添川柳教室 九月句会より
しづり夕月と聞くくつわむし
山に住む油断は出来ぬ土石流
無視じゃない聞き流してる遠い耳
今日閉じるローズの香りするお風呂
替否の手上げたり下げたりややこしい 西久保正義
マスコミに追われ尻ごみ議員たち
降り方が異常地球も老いてきた
拉致家族届け必死の叫び声
枝豆の秋の味覚へ大ジョッキ
福井 靖訓 選
東 寛
福森 桂子
飯田 翠子
古川 洋子
中奥 好雄
安井 英華
井久保和子
福井 靖訓

山添ふれあいまつり2014

山添のおもてなしの心の詰まった「山添ふれあいまつり」
秋の1日をふれあいまつりで楽しもうなんでも市、
特設ステージショー、お楽しみ抽選会などイベントが盛りだくさん!

と き 11月3日(祝)
午前9時～午後3時(雨天決行)

と ころ 山添村ふるさとセンター
(主会場:多目的広場)

駐車場 総合スポーツセンターグラウンド
山添中学校グラウンド



※両駐車場からシャトルバス(無料)を運行して
おりますのでご利用ください。

※まつり会場には駐車場はございませんので
ご注意ください。



山添村むらまつり実行委員会
(地域振興課内) ☎ 85-0048
HP <http://www.vill.yamazoe.nara.jp>

第12回 山添伝統文化こどもフェスティバル

と き 11月16日(日) 午後1時～
と ころ ふるさとセンター ふれあいホール

さそい
合わせて
観に来てね



【出演・展示】

- ・お茶芽コーラス
- ・わらべうた教室
- ・書道教室作品展示
- ・ふるさと民話教室
- ・御殿万歳こども教室
- ・特別出演 山添コーラス
- ・山添音頭 総踊り

問い合わせ 教育委員会事務局
☎ 85-0049

— 編集後記 —

私たちの子どもの頃は、保育園小
学校、中学校と合同で運動会をし
ました。
運動会が秋の取り入れ時期と重
なり、祖父に「絶対に来て。」と言わな
いと来てくれません。
明治生まれの祖父は、「孫にせがま
れて。」となぜか知り合いに言い訳し
ながら応援に来てくれました。

むらのうごき

平成26年10月1日現在()は前月比

◇人	□	3,939人	(4)
	男	1,871人	(一 1)
	女	2,068人	(5)
◇世帯数		1,347世帯	(3)
◇9月中の移動			
出生	2人	死亡	6人
転入	13人	転出	5人

※山添村に住所がある人の動き
を表しています